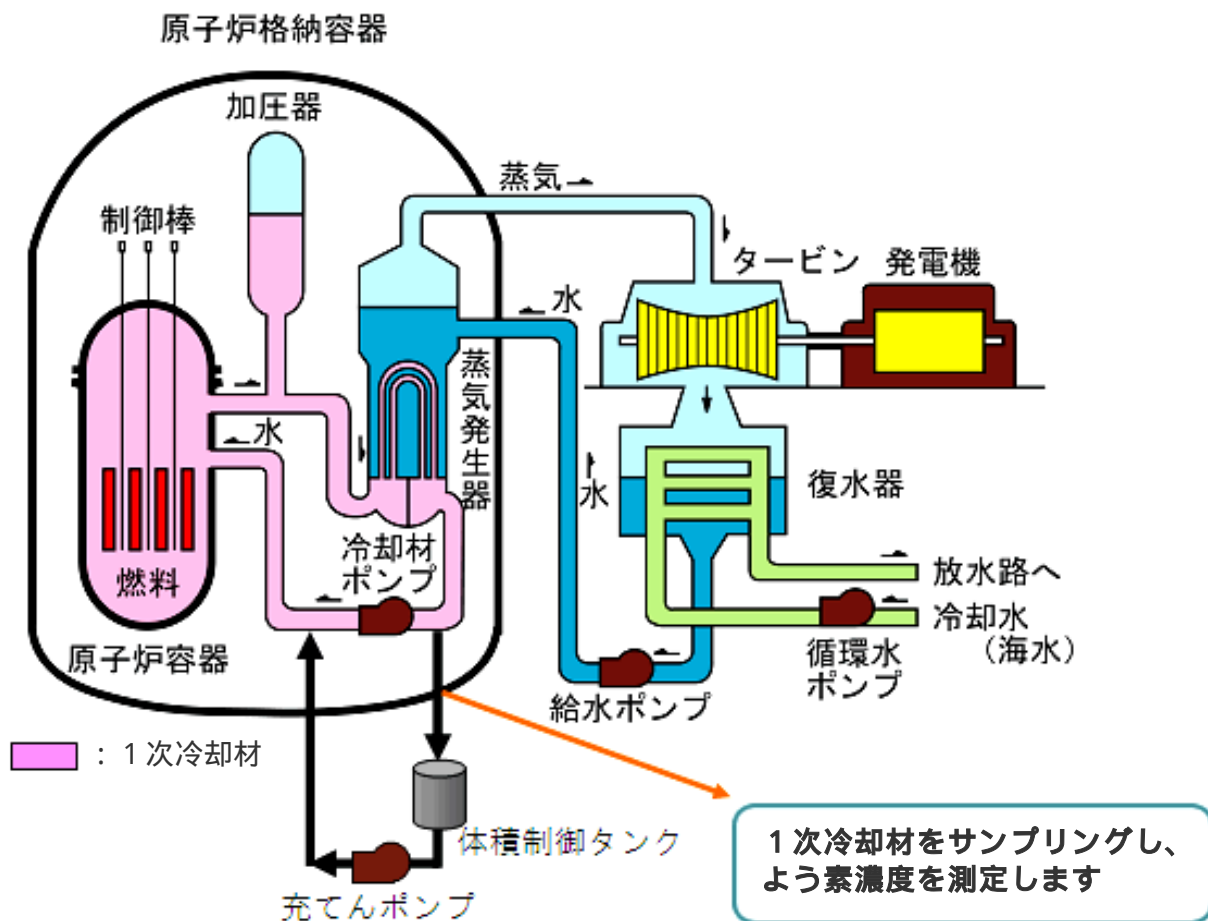


1次冷却材中のよう素濃度測定概要



原子力発電所では、運転中、定期的に原子炉内の1次冷却材(水)の放射性よう素の濃度を測定し、燃料棒(被覆管)に微小な穴などが発生して燃料棒中の放射性物質が1次冷却材中に漏れ出していないかを確認しています。